

中田 修

神戸大学医学部保健学研究科 博士後期課程

認知に問題を有する高齢者のテクノロジーを用いた在宅生活継続の検討

わが国では、認知に問題を有する高齢者の生活をどのように支援していくかが大きな問題となっている。一方スウェーデンでは早くから認知に問題のある高齢者を在宅でどのように支えるかに関する研究が進められており、その一環としてさまざまな日常生活で使われるテクノロジー (everyday technology : ET) の高齢者の使用状況に関する調査・研究が行われている。本研究では同地のカロリンスカ大学で Nygård らによって開発された Everyday Technology Use Questionnaire (以下 ETUQ) の日本語版を作成し、これを用いて 52 名の在宅生活をおくっている高齢者を対象に ET の使用状況とその困難さを明らかにした。さらにこの調査結果とスウェーデンで広く使用されているさまざまな Assistive Technology (AT) から、在宅支援を行う上で必要な AT 支援について、4 名の症例を通じてそれぞれ検討した。